

健康栄養学科学修到達度確認表

教育目標	学修指針	レベル4 (秀)	レベル3 (優)	レベル2 (良)	レベル1 (可)
人間と社会に関する広汎な知識と、他者から信頼される人間性の養成 DP 1	教養力	人文・社会・自然科学に関する多角的な知識を有し、より良い文化の創造を目指すことができる。	人文・社会・自然科学に関する基礎的な知識を有し、自らの問題として考えることができる。	人文・社会・自然科学に関する基礎的な知識を有し、問題点を指摘することができる。	人文・社会・自然科学の内容について、自分の知っていることを述べることができる。
	人間性	管理栄養士のあり方を踏まえて広く人間存在について考察し、より良い自己の実現を実践することができる。	管理栄養士のあり方について問題点を指摘し、より良い自己を実現するために努力することができる。	管理栄養士のあり方について自分なりのポリシーを持ち、自己を律することができる。	管理栄養士としてのあり方に沿ったルールやマナーを尊重することができる。
栄養に係わる職場で役立つ日本語運用能力やプレゼンテーション力と、職業を通して自らの存在を高めていくこととする社会性の養成 DP 2	コミュニケーション力	論理的で説得力のある口頭発表ができ、明晰な文章を書くことができる。	形式に沿った口頭発表ができ、わかりやすい文章を書くことができる。	得た情報を整理し、自らの考えをわかりやすく説明することができる。	正しく情報を受け止め、人前で物事の簡単な説明ができる。
	社会性	管理栄養士の社会的責務を把握し、自立した社会人にふさわしい責任感を持って共同作業に従事することができる。	管理栄養士の社会的責務を説明することができる。他者とスムーズに共同作業を行うことができる。	管理栄養士の社会的責務を一通り説明することができる。共同作業に加わることができる。	管理栄養士の社会的責務に関してある程度説明することができる。
健康と栄養に関する専門的な知識と、実地の分析に基づいて的確に判断する能力の養成 DP 3	専門力	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理し、根拠をもとに新しい視点で結論を導き出すことができる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理した上で根拠を示しつつ考察することができる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理することができる。	専攻するテーマについて、情報を集めることができる。
	判断力	先行研究について論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	先行研究について、その反証となる事例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	先行研究について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	先行研究について批判的に対することができる。
栄養管理、栄養指導や保健指導などを確実に行える技術力と、計画性をもって自らの意志を実現につなげていく実践力の養成 DP 4	技術力	専攻する研究対象について、独自の分析方法を確立し、説得力のある結論を発表することができる。	専攻する研究対象について、複数の分析方法を組み合わせて解決を探ることができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を用いて結果をまとめることができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を持つことができる。
	実践力	自ら課題を見出すことができ、自分なりの方法論を駆使して、計画的に解決にまで導くことができる。	自ら課題を見出すことができ、それらの解決に向けて成果をあげることができる。	与えられた課題に取り組み、ほぼ十分な成果をあげることができる。	与えられた課題に取り組み、ある程度の成果をあげることができる。